



宮崎県延岡市で個別学習塾miraieが開校したのは2016年のこと。システム開発の会社を営む傍ら、映像教材を活用したパソコン教室も運営していた折口敏代表が「自らの専門であるICTをフル活用した塾をつくりたい」と立ち上げたものだ。情報技術と科学技術の急速な発展で大きく変わっていく社会に生きる子どもたちに、生き抜く力を身につけてほしいと始めた塾。その塾の中核を担っているのが映像教材のウイングネットだ。ほかに導入しているICT教材とも相性がよく、とても使いやすいとのこと。導入の経緯や実際の活用などを詳しく伺った。



た塾の多くが高校部をつくろうと動き始めた時期でもあり、世の中の流れとヒタリはまったというのもあるでしょう。ただ、蓋を開けてみると入塾希望者のほとんどが高校生で中学生はほぼいませんでした。高校生の場合は、塾選びは子ども主体であることが多い。「子どもが気に入ったので」「子どもがwebサイトを見て」と話す保護者が多くいます。webサイトには完全自立学習型の塾であること、生徒の自主性に任せることを明記しており、集団授業を嫌う子、自分の好きな時間に自由勉強したい子が自然と集まってきました。やる気のある子が入塾してくるから必然的にレベルが高くなるのでしよう。入塾した高校生のレベルは当初の想定より高く、開校時に導入していた他社の映像教材では物足りない様子でハイレベルのものを探し辿り着いたのがウイングネットのアドバンスウイングでした。コロナ禍の少し前にウイングネットを

導入し、弱点克服や定着用のAI教材、速読などと共々、極力教えない形式にこだわっています。ウイングネットは講座設定が絶妙で単元が細分化され選択肢が多いにもかかわらず、迷うことはありません。その点でも他の教材と併用しやすいと感じます。現在は中学生も増え、ウイングネットは高校生にも中学生にもわかりやすいと好評です。メインの講

個別学習塾 miraie

自ら考え行動する、自立でききる人材を育む 完全自立学習を ウイングネットで実現

折口 敏 代表



個別学習塾 miraie 折口敏 代表

Society5.0を生きる子どもたちのためのICTをフル活用した完全自立型の学習塾

今も塾とは別にエンジニアとしてシステム開発を行う会社を営んでおります。2006年頃に「パソコンを教えてほしい」という要望がきっかけでパソコン教室を開校することになりました。パソコンのスキルは人によって大きく異なるため集団授業は向きません。社内で教育系コンテンツは作っておらず、映像教材を用いるパソコン教室にFC加盟して開校することにしました。映像教材は一人ひとりのペースで授業を進めることができ、全ての生徒が同じ先生による同じ授業を受けることができます。教

育の均一化が図れるというメリットがあり、次第にこれを地域の子どものための教育に役立てられないかと考えるようになりました。

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）が現実となり、AIを代表するような情報技術と複数の分野の科学技術が融合し大きく変化する社会を国は「Society5.0」と分類しました。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会のことで、子どもたちはSociety5.0の時代を生きていかなければなりません。2045年頃と言われているAIが人類の知能を凌駕する技術的特異点（シンギュラリティ）もかなり前倒しになりそうです。シンギュラリティの真つた中を生きる子どもたちにはITに使われるのではなく、ITを使いこなし、自ら考えて動ける人間になってほしいと思っています。未来を生き抜く力



師が生徒と話をし、時には私も加わりながらカリキュラム設定していきますが、生徒が安心して学習できるコンテンツだと感じています。加盟校向けのセミナーも多く開催されており、最新情報を得られるのが非常にありがたいです。

自習室利用も家庭学習も、一人ひとりの希望に添ってサポート

高校生には自習を促すため、朝7時から夜10時まで教室への出入りを自由にしていきます。カードキーを渡しており、職員がいない休日でも使用可能です。生徒によっては朝9時から夜10時までじっくり勉強している子もいるほどです。同じ建物内にチケット制のレンタル自習室を設けており、自習室のみの利用もできるようにしています。自宅では勉強できないけれど塾の指導は要らないという子が参考書を持ち込んで学習しています。



を身に付けてほしいのです。そんなエンジニアの想いが映像教材をはじめとするICTをフル活用した自立できる人材を育む完全自立型学習塾の誕生へとつながりました。

ハイレベルなコンテンツを求めてウイングネットを導入

当初は中学生をターゲットに高校受験に対応した塾を想定していました。しかし、開校について相談に乗ってくれた方から「今後は塾に通う高校生が増えるだろうから高校生向けのコンテンツも用意しておいた方がいい」とのアドバイスを受けたのです。現在は中学卒業後もそのまま同じ塾の高等部に通うケースが増えましたが、当時は高校に合格した子どもたちが一度卒業するのが一般的でした。そういう

学ぶ意欲がある方には 最良の学習環境を

中学生も高校生同様、ICTをフル活用したスタイルです。中学生も増えてはいるものの高校に合格してしまうといったん退塾してしまうため、高校部への継続が今後の課題だと思っています。

ウイングネットには小学生向けの講座もあることから小学生も対象に入れてはいますが、私自身が小学生の間は速読やプログラミングを学ぶ方がいいとの考えから、そちらを勧めています。地元の中高一貫校を目指す方などには個別に対応しています。いずれにせよ、大人でも子どもでも勉強したい、学びたいという意欲がある方には今後も最良の学習環境を提供していきたいと思っています。

